

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

①対象者	子宮頸部腫瘍と診断された患者さん			
②研究課題名	子宮頸部腫瘍における組織酸素飽和度が臨床経過や予後に与える影響に関する調査研究 (pilot study)			
③実施予定期間	2016 年 5 月 ~ 2018 年 12 月			
④実施機関	静岡がんセンター			
⑤研究代表者	氏名	武隈宗孝	所属	静岡がんセンター 婦人科
⑥当院の研究代表者	氏名	武隈宗孝	所属	静岡がんセンター 婦人科
⑦使用する検体・データ	手術によって得られた摘出子宮組織、および臨床経過データ			
⑧目的	悪性腫瘍に対する治療について、その組織内の酸素濃度が低い「低酸素状態」である場合、治療成績が不良になる傾向があります。そのため、治療前に腫瘍の酸素濃度を知ることができれば治療選択の一助になると考えられます。この研究は子宮頸部腫瘍の酸素濃度とその後の治療経過の関連性を調査し、腫瘍内の「酸素状態」と治療成績の関係を明らかにすることを目的とします。			
⑨方法	子宮頸部腫瘍と診断された患者さんに対して、通常の内診時にシール型のオキシメーター（酸素濃度の計測器）を用いて酸素濃度を計測します。そして、患者さんの状態や治療についての情報をカルテから収集します。得られた酸素濃度のデータと臨床情報を用いてお互いの関連性などについて解析します。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2018 年 1 月 9 日		
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。			
⑬知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに属します。			
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222（内線 3379）
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長